

入札会におけるくじの執行方法の変更について

次のとおり変更を行いますのでご承知下さい。

記

1. 改正の内容

- ① 1から20の「抽選棒」を2回引いて、足した数の合計が最も大きい者を落札候補者とします。
- ② 同数であった場合、2回引いた「抽選棒」のうち大きいほうの数字を比べて、より大きい数字を引いた者を落札者とします。
- ③ 以上が全て同じであった場合は、該当者のみにより再度①～②の作業を繰り返し、落札候補者を決定します。

2. 適用時期

平成21年5月14日以降に開札する案件から適用する。

新しい「くじ」のイメージ

1～20
の抽選棒

1～20
の抽選棒

※ 1回引いた抽選棒は戻した上で次の方が「くじ」を引くこととします。

【ケース1】

A者	10	13	合計数 23	落札候補者
B者	8	12	合計数 20	落札候補者（次点）
C者	6	10	合計数 16	落札候補者（次々点）

【ケース2】

A者	11	17	合計数 28	1回の最大値 17	落札候補者（次点）
B者	10	18	合計数 28	1回の最大値 18	落札候補者
C者	14	14	合計数 28	1回の最大値 14	落札候補者（次々点）

【ケース3】

A者	5	14	合計数 19	1回の最大値 14	AとBによって 再くじ引き
B者	5	14	合計数 19	1回の最大値 14	
C者	9	10	合計数 19	1回の最大値 10	落札候補者（次々点）